核兵器全面禁止条約への調印・批准を
香川県原水協ニュース
No. 283
2025年5月29日(木)
原水爆禁止香川県協議会
電話・FAX087-831-5350

高松市役所からさぬき市へ、オカリナで「青い空は」３番までたっぷり！

高松市役所に人が集まり始めたのは、10 分前。樫平和委員会代表が挨拶。樫氏は 80 年前、広島・長崎に原爆投下され一瞬で多くの方が亡くなり、生き延びた被爆者とともに核兵器なくせと頑張ってきた。それがノーベル平和賞受賞につながったと喜んだ後、しかしウクライナやガザなど核戦争の危機が高まるなか、ASEAN では核廃絶を訴えたが、この流れを大きくしていくことが大切。一方高松では港に続き空港も「特別指定」の報道もあるが、県議には何も知らされていない。戦争する国つくりを許さずの声を大きく上げていこうと呼びかけました。

高松市長の不在で宮脇智崇人権局課長が、68 回目の原水爆禁止国民平和大行進に核のない世界をめざす行進者に敬意を表すとともに、広島・長崎をめざして二度と起こさないため高松市も平和首長会議に参加しているとし、皆さんの所期の目的が達せられることを祈念し挨拶としました。

また牟礼支所では、上野支所長が日ごろの平和活動への参加者の貢献に敬意を表した後、しかし世界は戦争が後を絶たないが、それだけに平和行進が意義深いとし、体調を気遣い挨拶としました。ここでオカリナの演奏で「青い空は」を 3 番までフルコーラスで歌って出発。志度町では新婦人の東條恵津子さんが待っていました。すでに志度駅で署名 18 筆ゲットとのこと。大阪の人からももらったとのことでした。

今日は牟礼町で、キャンディや別の人からも飲み物 2 種類の差し入れがありました。署名は屋島町で行進者が 22 筆、そして志度町で 18 筆の成果でした。

左上：高松市役所で宮脇課長・青木館長と
右上：牟礼支所で上野支所長と
右：志度駅で東條さんと行進者たち